

2027年3月期 第1四半期連結決算ハイライト

2027年3月期 第1四半期決算の概要

・本年度第1四半期決算は、非鉄金属や原油などの商品価格が高水準に推移したことにより、売上高は前年同期比12%増の7,185億円となりました。利益面では、主にエネルギー・生活資材事業やリサイクルメタル事業の採算が改善したことなどにより、営業利益は前年同期比41%増の205億円に、経常利益は前年同期比36%増の190億円に、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比15%増の114億円となりました。

・年間配当は66円（中間配当33円、期末配当33円）を予定しております。

・当社は2026年4月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前期以前の数値については、当該株式分割後の株式数を基準とした金額を記載しております。

経 営 成 績	前第1四半期 (累計)	当第1四半期 (累計)	前年同期比		主な要因
			増 減	増減率	
売 上 高	6,398	7,185	787	12%	(売上高) 非鉄金属や原油などの商品価格が高水準に推移したことにより、売上高は前年同期比12%増の7,185億円となりました。
売 上 総 利 益	341	429	87	26%	
販 管 費	195	223	27	14%	
営 業 利 益	145	205	59	41%	
営 業 外 収 益	29	30	0	1%	
営 業 外 費 用	35	45	10	29%	(販管費) 前年同期比で27億円（新規連結子会社の影響額は7億円）の増加でした。その内、人件費は16億円（新規連結子会社の影響額は4億円）の増加でした。
経 常 利 益	140	190	49	36%	
特 別 利 益	—	—	—	—	(営業外損益) 営業外収益は0.3億円増加、営業外費用は10億円増加しました。 経常利益に対する主な影響は以下の通りです。 持分法投資損失：前年同期比で3億円の減少 為替差損：前年同期比で10億円の増加
特 別 損 失	1	2	0	23%	
税引前四半期純利益	138	187	49	36%	
法 人 税 等	42	75	32	77%	(特別損失) 投資有価証券売却損：前年同期比で1億円の減少 投資有価証券評価損：当期において2億円の発生
四 半 期 純 利 益	95	111	16	17%	
親会社株主帰属分	99	114	15	15%	
非支配株主帰属分	△4	△2	1	—	
E P S	49.58円	59.23円	9.65円	19%	
四 半 期 包 括 利 益	31	166	134	424%	

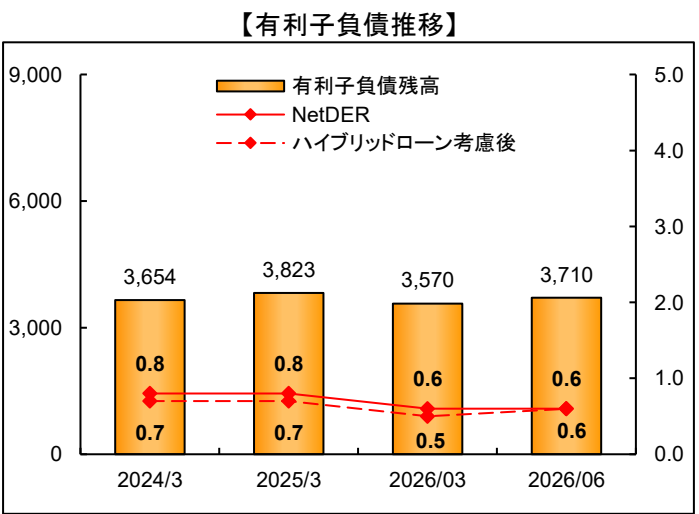
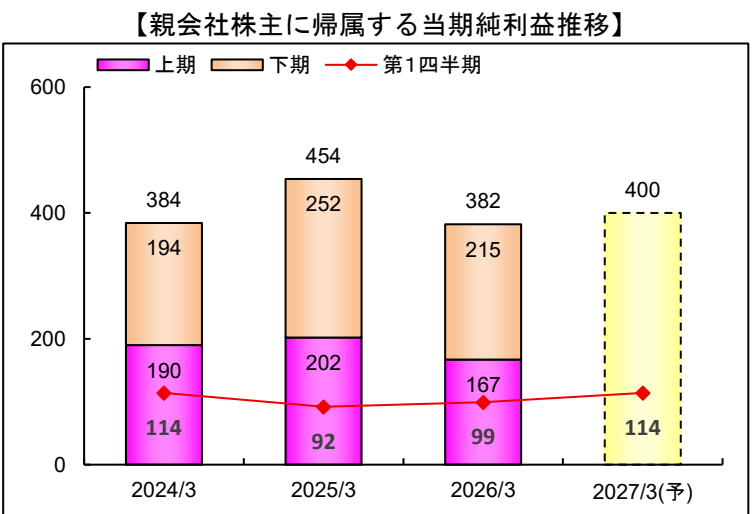
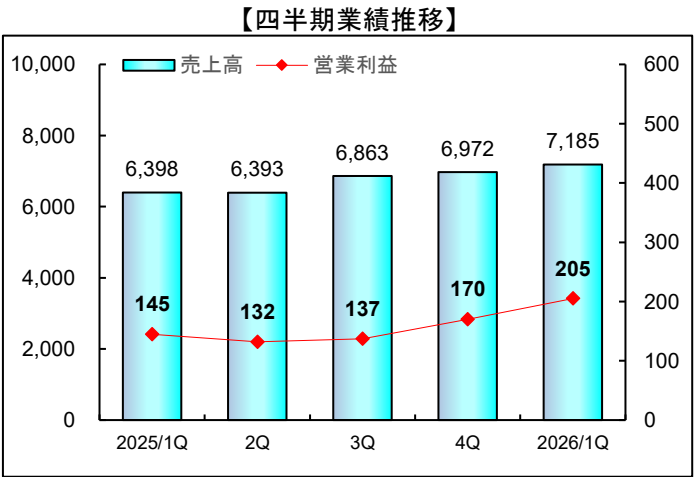
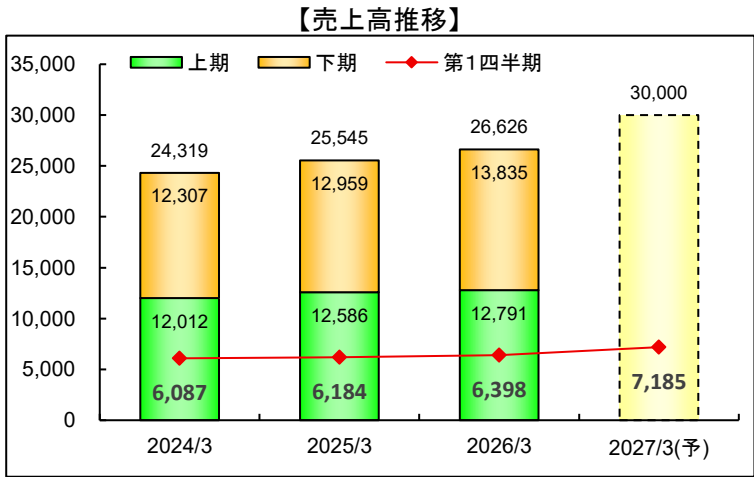
セグメントの状況	売 上 高			セグメント損益(経常損益)			主な要因
	前第1四半期	当第1四半期	増減率	前第1四半期	当第1四半期	増減率	
鉄 鋼 プ ラ イ マ リ ー メ タ ル リ サ イ ク ル メ タ ル 食 品 エ ネ ル ギ ー ・ 生 活 資 材 海外販売子会社	2,700	2,724	1%	97	84	△14%	(鉄鋼) 鋼材取引が拡大したことや、新規連結子会社の業績が寄与したことなどが収益を押し上げました。一方、大型工事物件の進捗が減少したことなどが利益を押し下げました。 (プライマリーメタル) ニッケルや銅価格が高値で推移したことなどが収益を押し上げました。また、SAMANCOR CHROME HOLDINGS PROPRIETARY LTD. からの持分法による投資損失が減少したことで赤字幅が縮小しました。 (リサイクルメタル) アルミや銅などの主要取扱商材の相場が高水準で推移したことや、これら商材の需給環境が変化する中でも安定的な取引数量を確保したことなどが収益・利益を押し上げました。 (食品) 外食産業向け販売が好調に推移したことなどが収益を押し上げました。一方、一部海外子会社において販売時期が後ずれしたことなどが利益を押し下げました。 (エネルギー・生活資材) 原油価格が高値で推移したことや、需給環境が不安定な中においても一部化成品の取扱数量を維持・拡大したことなどが収益・利益を押し上げました。 (海外販売子会社) 東南アジアで鋼材や非鉄金属原料の販売数量が増加したことや、新規連結子会社の業績が寄与したことなどが収益を押し上げました。一方、一部子会社において通商環境の影響を受けたことなどが利益を押し下げました。
	551	625	13%	△5	△2	—	
	640	874	36%	△0	26	—	
	356	393	10%	9	9	△3%	
	936	1,237	32%	24	56	127%	
	1,184	1,414	19%	18	16	△10%	
報告セグメント計	6,369	7,269	14%	143	190	32%	
そ の 他	312	332	6%	6	6	△7%	
合 計	6,682	7,602	14%	150	196	31%	
調 整 額	△283	△416	—	△10	△5	—	
P L 計 上 額	6,398	7,185	12%	140	190	36%	

*前第3四半期連結会計期間より、当社から連結子会社への株式譲渡による組織構造の変更に伴い、従来「鉄鋼事業」に区分しておりましたCOSMO STEEL HOLDINGS PTE. LTD. を「海外販売子会社」に変更しております。
なお、前年同期比較につきましては、変更後の区分方法に基づき行っております。

トピックス	6月 ・米国ASSOCIATED STEEL GROUP, LLC. の持分取得に関する持分譲渡契約を締結。 ・組織再編に伴い、完全子会社であるHKGトレーディング株式会社を分割会社とする会社分割を実施。
-------	--

阪和興業株式会社
(単位：億円 億円未満切捨て)

財 政 状 態	前期末	当第1四半期	前 期 比		主な要因
			増 減	増減率	
総 資 産	12,126	12,360	233	2%	(総資産) 売上債権や土地の増加などにより、前期末比2%増となりました。
(流動資産)	9,287	9,470	183	2%	
(固定資産)	2,839	2,890	50	2%	
負 債	7,797	7,941	144	2%	(負債) コマーシャル・ペーパーや短期借入金の増加などにより、前期末比2%増となりました。有利子負債は前期末比4%増となり、Net DERは、0.6倍(*0.6倍)となりました。
(グロス有利子負債)	3,570	3,710	140	4%	
(ネット有利子負債)	2,714	2,803	89	3%	
Net DER	0.6/0.5*倍	0.6/0.6*倍	—	—	
純 資 産	4,329	4,418	89	2%	(純資産) 親会社株主に帰属する四半期純利益からの利益剰余金の積み上がりや為替換算調整勘定の変動などにより、前期末比2%増となりました。 自己資本比率は、前期末と同水準の35.3%(*37.3%)となりました。 (*ハイブリッドローン考慮後のNet DER及び自己資本比率)
(株主資本)	3,602	3,633	31	1%	
(その他の包括利益累計額)	672	732	59	9%	
(非支配株主持分)	54	52	△1	△3%	
B P S	2,197.63円	2,258.41円	60.77円	3%	
自己資本 自己資本比率	4,274 35.3/37.3*%	4,365 35.3/37.3*%	90 —	2% —	



今期の見通し	前期実績	今期業績 予想		対前期増減率
		対前期増減率	対前期増減率	
売 上 高	26,626	30,000	13%	
営 業 利 益	584	625	7%	
経 常 利 益	522	570	9%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	382	400	5%	

配当の状況	前々期実績	前期実績	当期予想
中 間 期	21.00円	25.00円	33.00円
期 末	24.00円	33.00円	33.00円
年 間 配 当	45.00円	58.00円	66.00円
D O E *	3.0%	3.4%	3.6%

* DOE（株主資本配当率）＝配当総額÷期首株主資本